

2026年度事業計画について

1. 2026年度活動方針
2. 2026年度事業目標
 - ①ドコモ・モバイル・サイエンス賞事業
 - ②ドコモ奨学金事業
 - ③ドコモ市民活動団体助成事業
 - ④ドコモグループ寄付事業
3. 活動スケジュール

2026年度MCF事業は、予算に沿って「ドコモ・モバイル・サイエンス賞」「ドコモ奨学金事業」「ドコモ市民活動団体助成事業（子ども分野、環境分野）」の3事業及び事務局運営とする。

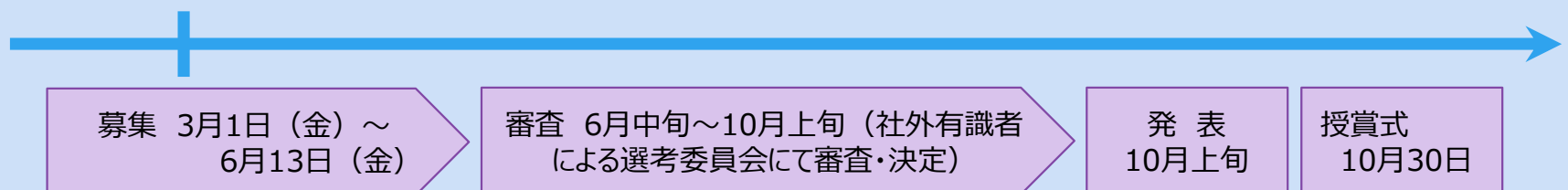
事業	方針等	
1.ドコモ・モバイル・サイエンス賞	・移動通信分野の発展と若手研究者の育成に寄与	継続
2.ドコモ奨学金事業 (社会的養護出身者)	・社会的養護出身者を対象に高等教育進学のための経済的支援を行い、「夢の実現と自立」を応援 ・入学から卒業までケースワーカーを配置し、施設退所後から大学等卒業までの精神面と生活面をサポート	施策の充実
3.ドコモ市民活動団体 助成事業	・環境部門 生物多様性が豊かに保全された環境を未来の子どもたちに引き継ぐため環境活動への支援を充実 ・助成事業の進捗管理と運営支援等による活動成果の見える化と情報発信力強化	施策の充実
4.事務局運営等	効率的業務運営の推進と情報発信の強化	継続

2.① ドコモ・モバイル・サイエンス賞事業

移動通信を含めた情報通信の発展と、若手研究者の育成を目的とし、優れた研究成果・論文・著書の発表等を通じて、産業、社会・文化の発展に貢献し、社会的課題の解決等にも繋がりを業績を挙げた研究者（グループ含む）を表彰する。

区分		詳細
応募資格		国内の大学、研究機関等で次のテーマに関する研究に従事している満50歳未満（1976年以降生まれ）の個人またはグループ。ただし、NTT及びNTTグループ社員は除く
テーマ	先端技術部門	広い意味での移動通信に関連した先端技術において、優れた研究開発・成果発表により、移動通信分野の発展に貢献しつつあるもの。またはその成果が高く評価できるもの。
	基礎科学部門	広い意味での移動通信に関連した基礎科学において、優れた研究開発・成果発表により、将来、基礎科学の振興、移動通信分野の発展に貢献する可能性の高いもの。またはその成果が高く評価できるもの。
	社会科学部門	広い意味での情報通信に関連した社会科学において、その発展に貢献するとともに独自の調査や経験的データを踏まえた実証的な研究成果、または社会貢献や社会的課題の解決に寄与する研究成果で、とくにモバイル・メディアの活用につながるもの。
		優秀賞 各1件 600万円

スケジュール



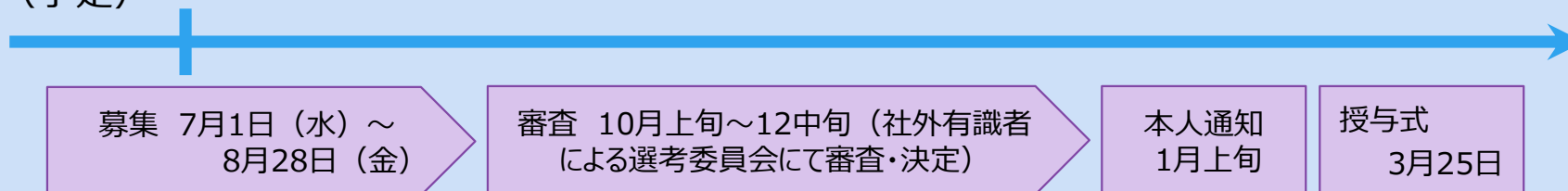
2.② ドコモ奨学金事業

<社会的養護出身者への奨学金>

児童養護施設・里親宅等で暮らしている子どもたちが、将来の夢や希望に向かってチャレンジできる社会をめざし、大学等で安心して学べるよう経済的・精神的両面から支援し、子どもたちの夢の実現を応援する。

区分	詳細
応募資格	<ul style="list-style-type: none">・現在、または過去に児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、母子生活支援施設、里親家庭で生活していること。・2027年4月に大学（4年制）、短期大学、専門学校*への入学を希望する高校生及び高校卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者を対象とします。 <p>*通信教育課程、放送大学及び専門学校の高等課程・一般課程・付帯教育、各種学校、6年制大学、大学院は対象外とします。</p>
募集人数	10名程度
支給期間 ・給付額	最短修業年数・5万円/月・人（年額60万円/人）※進級・卒業時に一時金として10万円を支給 ※その他：他の奨学金受給など条件あり
その他	ゆずりは（ソーシャルワーカー）によるメンターサポート・・・ドコモ奨学生のアフターフォローの状況共有等

スケジュール（予定）



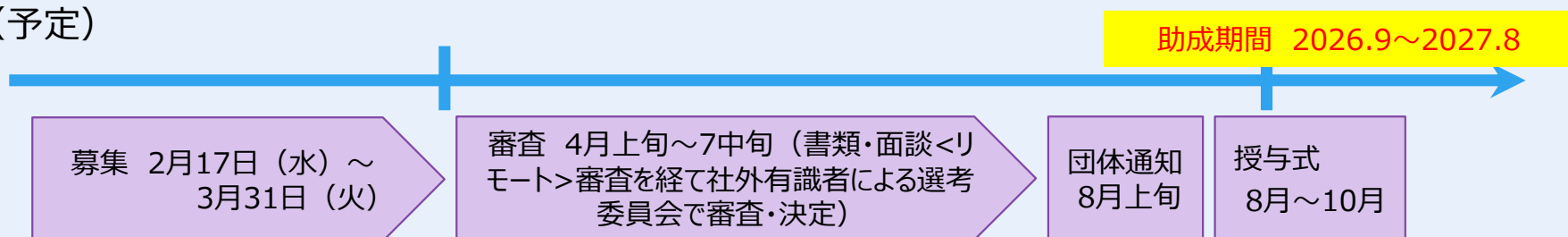
※入学を証明する書類の受理をもって最終決定

2.③ ドコモ市民活動団体助成事業

社会貢献活動の取組みを積極的に訴求し、将来の社会を担う子どもたちが夢と希望をもって成長していける社会の実現にむけ、子どもの健全育成と生物多様性の保全の推進に取り組んでいる全国の市民活動団体に対して、公募による活動資金の助成を行う。

区分	詳細			
対象団体 (応募条件)	① 日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体 ② 活動実績が2年以上（基準日：2026年3月1日） ③ 複数の団体が連携した協働事業の場合は、代表申請団体が上記①②の要件を満たしていること ④ 任意団体は、5人以上のメンバーで構成され、会則、規約またはそれに相当する文書を有し、適正な事業計画書、予算・決算書が整備されており、応募団体が活動する地域の間接支援組織（NPO支援センターやボランティアセンター、社会福祉協議会などの活動支援団体）からの推薦があること			
助成期間	2026年9月1日（火）～2027年8月31日（火） ※2年目以降の申請は、実績・継続性や活動の広がりなど審査を行ったうえで、助成期間最長3年を可能とする			
助成金額		子どもの健全な育成支援・経済的困難を抱える子ども支援	生物多様性保全を推進する団体支援	
			(単年度助成)	(複数年助成)
	助成総額	3,200万円（目安）	1,100万円（目安）	600万円（上限）
	1団体の標準額	80～110万円	110万円	150万円×原則2年間

スケジュール（予定）



2.④ ドコモグループ寄付事業

「災害・人道支援」、「海外文化交流支援」、複数の支社間にまたがる「各種イベント」等については、ドコモグループとして一元的に寄付を行い、グループの社会貢献活動を効果的に推進する。ただし、経済界等からの要請に基づきドコモがN T Tグループの一員として行うような大規模災害等への寄付は対象外とする。

区分	詳細
寄付額	<u>総額 100万円</u> （1件あたりの寄付額は個別に決定、標準寄付額は70万円から100万円を想定） ただし、総額を上回る寄付要請については、100万円までの追加を上限として理事長が決定し、直後の理事会で報告する。
実施条件	寄付金の拠出については、災害発生地の該当支社等と連携したうえで支払うこととする。
寄付の決定	ドコモからの要請、または社会的なインパクト等を考慮し、個別に理事長が決定する。 ※寄付にはドコモグループの冠を付し、「ドコモグループ寄付金」、「ドコモグループ賛助金」等と称することとする。
予算措置	本事業については、考慮すべき外部事象が発生した場合に趣旨に鑑みて検討することとし、予算計上は行わない。
参考	<ul style="list-style-type: none">● 2007年度～2015年度および2017年度～2025年度は、ドコモからの要請なし● 2016年度は、ドコモからの要請に基づき、熊本地震被災者支援を目的とした公募による市民活動団体への助成事業を実施<ul style="list-style-type: none">・ 活動テーマ：避難所・仮設住宅等で生活する被災者のニーズを踏まえ、継続的に実施する生活支援活動・ 助成総額：1,000万円・ 助成団体数：21団体

2.2026年度 MCF活動スケジュール

	2025年度			2026年度											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ドコモ・モバイル・サイエンス賞			▲3/2 HP掲載 (募集告知) (第25回) ■募集: 3/2~6/12				■査読 →		▲9/2.9 選考分科会	▲10/2 選考委員会 ▲10/上 HP掲載 (受賞者決定) ▲10/30授賞式					(第26回) ■募集: 3/1~
ドコモ奨学金 社会的養護				▲3/25 奨学金授与式・卒業生を送る会				→	■募集: 7/中~9/上	▲7/中 HP掲載及びチラシ配布 (募集告知)	■審査 (書類・面談) 10/上~11/下			▲12/16 選考委員会 ▲1/上 本人通知	3/下▲ 奨学金授与式・卒業生を 来る会
ドコモ市民活動 団体助成事業	▲1/24 HP掲載 (募集告知)		■募集: 2/18~3/31	■一次 (書類) 審査	▲3/7 中間報告会 (オンライン)	■二次 (面談) 審査		▲7/15.22 選考委員会	▲8/上 選考結果通知	▲8/下 HP掲載 (助成先決定)	■贈呈書授与(9~10月)	▲8/31 助成金振込			■募集: 2/上~ ▲3/上 助成金説明会 (オンライン) ▲3/上 中間報告会 (オンライン)
															■助成期間: 2026.9.1~2026.8.31 →